

国民健康保険 財政維持の考え

問 国の負担金が減少していることが国保財政を厳しくしている。担当者としての考えは。

住民生活課 18年度の国の負担金は17年度と比較して7300万円、率で7・

3%の減となった。これにより町の持ち出しが増える結果となった。医療費を抑制するため、健康づくりに取り組んでいかなければならない。

問 来年度から後期高齢者医療制度が始まる。国では75歳以上の保険料を年金から天引きする考えのようだが、どうなっているか。

住民生活課 後期高齢者医療保険料の公的年金受給者からの天引きは、平成20年度から予定されている。

問 介護認定審査委員会のメンバーは。任期は2年で本町の割り当ては4人。



豊間根地区の水道管布設替え事業は、平成22年度まで行われます

本年度は内科の医師、町の保健師、社協、施設から選出される。
問 介護認定は、平成18年の制度改正により新規分は町で行う。再認定については、今まで通り民間で行うことになる。

要介護者の増加抑制 のため保健師の指導

問 要介護者の増加を抑えるため、保健師はどのような指導をしているか。

保健福祉課 循環器検診の際、65歳以上の人を対象に実施する「生活機能評価」を基に特定高齢者を選定し、その人達を対象に介護予防教室を実施している。

豊間根地区水道管布 設替えによる有収率は

問 豊間根地区の水道管の布設替え事業により、豊間根簡易水道の有収率はどのように変化したか。

水道事業所 豊間根地区の水道管布設替えは、平成13年度から始めており、22年度までの予定。現在、9500mの内4980mが完了した。有収率は4・5

%上昇しており、1日当たり24tの漏水を防止できた。これからの整備で更に3%ぐらい上がると予想している。
問 有収率を上げるため、今後どのような努力をするか。

水道事業所 布設替えにより本管を強くした結果、枝管の弱いところから漏水する状況があり、減圧弁を入れるなど対策を考えている。また、漏水が発生しやすい所は材質の強い管に入れ替えるなど有収率の向上に努める。

水道料金を値下げ する考えがないか

問 決算で2400万円の利益剰余金を計上している。水道料金を下げることができないか。

水道事業所 今の洗濯機や水洗トイレなどの器具は節水型となっている。また、各家庭で節水に努めており水の需要は減っている。
ある程度の剰余金がないと緊急の災害にも対応することができない。現在の経営を維持するためには値下げは考えられない。

参考

簡易水道施設の状況

施設名	区域内人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)	年間配水量 (m ³)	年間有収水量 (m ³)	有収率 (%)
豊間根	3,174	2,465	77.66	233,003	175,034	75.12
馬指野	296	214	72.30	14,980	13,036	87.02
大浦	874	849	97.14	80,871	70,366	87.01
小谷鳥	109	101	92.66	7,243	6,517	89.98
合計	4,453	3,629	81.50	336,097	264,953	78.83

ことは…有収率とは

給水した水量のうち水道料金として徴収対象となった水量を給水量で除して率(%)で表したものの。収入となる水量の割合。